Joy風
Faculty of Informatics
Shizuoka University Newsletter
Vol.28, April 2022
https://www.inf.shizuoka.ac.jp
April2022
vol.28
静岡大学情報学部

行事報告

Report of events

2021 年度秋季オンラインオープンキャンパス

情報学部広報委員　峰野 博史

写真１:秋季オープンキャンパス特設サイト

秋季オンラインオープンキャンパスという枠組みの中で、最新の情報学部紹介動画などを含めた特設 Web サイトを公開しました。例年 11 月のテクノフェスタ in 浜松に合わせて開催されていた公開講座や秋季保護者懇談会も、コロナ禍のこともあり昨年度に引き続きオンライン開催となりました（写真１）。

高校生や保護者の皆様とキャンパスで対面できなかったことは残念でしたが、学部長挨拶、学部･学科紹介、学生生活指導･キャリア支援等の説明動画を掲載しました。さらに、情報学部公開講座動画として、昨今のコロナ禍で大きく変わった大学教育状況を踏まえ、各学科の教員（宮崎佳典先生、大島律子先生、大瀧綾乃先生）がそれぞれの立場から学習環境と今後の教育の在り方などについて「これからの教育と情報」に関する議論も行いました（司会：狩野芳伸先生）。

また、情報学部の雰囲気や学生生活が少しでも伝わればと思い、紹介動画も作成しました（写真２）。Web フォームを用いた何でも質問にも多数の質問が投稿され、関係委員会から適宜回答いたしました。この特設 Web サイトや本学情報学部のホームページには全国から多くのアクセスがあり、11 月は約３万件ものページビューがあり盛況のうちに幕を閉じることができました。

写真2:情報学部紹介動画へのリンク

オンライン同窓会 2021

同窓会ワーキンググループ　石川 翔吾、白井 靖人、杉山 茂、望月 美希

第２部の交流会会場（Gather.townというアプリを利用）

2021 年 11 月６日（土）にオンライン形式で情報学部オンライン同窓会を開催しました。昨年度は交流の場を作ることができなかったため、今年は発表形式の第１部と、交流主体の第２部の二部構成で実施しました。同窓会には 43 名が参加し、第１部と第２部を合わせて２時間の充実したプログラムとなりました。（https://joho.page.link/hc2021）

第一部では、元静岡大学学長・元情報学部長の伊東幸宏先生、浜松工業会浜松支部長の望月英二さま、卒業生３名にお話いただきました。伊東先生、望月さまのお二人からは共通して情報学への期待と積極的な地域連携の推進について激励のメッセージがありました。卒業生の３名からは、起業、新聞社、研究所といったバラエティに富んだキャリアの紹介があり、大学教育・研究活動の意味を改めて見つめ直す機会となりました。第２部では、ヴァーチャルな交流用の場を作り、参加者がアバターを動かしながら交流できるようにしました。懐かしいお顔も拝見でき、卒業生や退職教員の皆さまの近況を伺うことができました。来年度以降も対面とオンラインのハイブリッド形式を望む声は多いので、開催の形式を含めて情報学部らしい同窓会を検討していきます。

現場の“語り”から地域社会の問題を捉える

情報社会学科　望月 美希

2021 年 10 月に情報学部に着任しました望月美希です。私の専門は地域社会学という分野です。「現場のできごとから社会問題を考える」という姿勢を軸として、対象とする地域に自らも身を置くフィールドワークを主な研究手法としています。社会学や社会調査というと質問紙調査や統計的な分析を思い浮かべる方も多いかもしれませんが、私の場合は、主にインタビューから得られる人々の「語り」に着目し、分析します。これも捉えどころのない「社会」という混沌としたものを捉える 1 つのアプローチです。

これまでの主な研究テーマに、東日本大震災の復興における被災者の生きがい問題に関する考察があります。復興過程において人々が「生活を取り戻すこと」とは、衣食住の保障だけで成立するものではなく、こころの復興についても考える必要があります。例えば、津波被害による生業の喪失や、集団移転による元のコミュニティの喪失といった大きな生活変化を経験するなかで、震災前の生活に内在する生きがいをどのようにして取り戻すことができるのかという点が問われています。そうした問題に関する支援活動の動向や課題について、被災者や支援者の方々へのインタビューをもとに考えてきました。

静岡県では南海トラフ地震への災害対応についても議論されています。学生の皆さんと身の回りの地域社会で起こっている問題について、一緒に考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

退職教員による情報学部の思い出

情報化の渦に飲み込まれた 36 年間

情報社会学科　厨子 光政

大学院を修了後、昭和 61 年 4 月に静岡大学教養部に英語教員として着任した。その当時は文系の世界ではワープロ専用機が主流であり個人で PC を使うことはまだ稀で、せいぜい共同で使う人がいるくらいだった。フロッピーディスクが本当にフロッピー（薄くてペラペラ）だったし、アプリケーションソフトが本体に内蔵されておらず、文章作成ソフトと保存用ソフトが別々のフロッピーディスクだったので、使うたびに差し込んだり取り外したりしていた。私は、そのような時代のパソコンでさえ使えなかったので、平成 7 年 10 月に情報学部に配置換えとなって PC を一台があてがわれた時は、正直、大きなストレスだった。ちなみに、その時の PC は確か、富士通の FM−V なんとかで、主メモリーが 8Mb とか 16Mb（だったような気がする）。

そんな私にも情報化は容赦なく押し寄せてきて、今ではパソコンでホテルや飲食店の予約をしたり、スマホでコンビニの支払いをしたりと、情報化の恩恵にそこそこ浴してはいるが、いまだに情報化の渦の中でもがいている。情報学部の学生が学ぶことはいろいろあるが、その中の一つは、私のような人間にも易しく使える、優しい技術の開発、優しい情報化の在り方であろう。

率直で熱い議論で変化し続ける情報学部に未来はある

情報科学科　酒井 三四郎

1998 年に情報学部に着任してから、24 年の在職となりました。大学で仕事をしていて良かったことは何かに映った自分の姿を見なければ、いつでも 20 代でいられたことです。学生たちと議論したり、プログラムを作ったりして、楽しい時間を過ごすことができました。学生たちに感謝、感謝です。

逆に大変な思い出は、2014 年から 3 年間、学部長を務めたことです。情報学部は 1996 年に設立されて以来、文工融合の理念のもとに教育・研究の方法を改善してきました。「1 学部 2 学科制」、「1 学部 2 学科 3 プログラム制」を経て、私が学部長の時に「1 学部 3 学科制」へと、40 名の定員増と新学科設置という大改革の波の中にいました。学部内では、18 歳人口が減少していくという中で、学部の将来をかけて、熱い議論が行われました。文部科学省との打ち合わせも難航しました。新情報学部になって 6 年が経過しましたが、新学科のために着任された情熱的な教員と高い志の学生たちを迎えることができて、順調に滑り出していることを大変嬉しく思っています。今後とも情報学部がますます発展することを心より祈念いたします。長い間ありがとうございました。

未来をよくするために

情報科学科４年　小野田 凌

「情報系の勉強をしておけば、きっと将来に役に立つだろう」私はそんな曖昧な理由でこの大学へ志望しました。そんな芯の通っていない人間を待ち受けていたのは大きな試練でした。大学に入学してしばらくは、順調に単位の取得が進み、大きな不安を感じることもないまま学生生活を過ごしていました。しかし、三年生の中頃、就職か大学院進学かを考えた際に、不安を感じなかったのは、無意識に先のことを遠ざけていただけだったからだと気付きました。研究室配属が決定してからも、未来への不安を感じ、それを遠ざける毎日を送っていました。結果、卒業研究に行き詰ってしまいました。

前進するヒントになったのは研究室の先生や先輩たちでした。研究についての相談に乗ってくださる方々の姿を見て、逃げ続ける自分がとてもばかばかしく思えました。そうして、少しずつ未来のために何をすべきかを考えられる様になったと思います。

大学院に進学してからは学部時代に痛感したことを役立て、どんな未来にしたいのかを具体化し、今やるべきことを積極的に見つけていきたいと思います。

学生知的財産活用ビジネスアイデア大会への挑戦

行動情報学科４年　白川 美穂

昨年 11 月、ゼミの活動の一環として学生知的財産活用ビジネスアイデア大会に参加し、優秀賞を頂きました。この大会は、静岡県内の企業が持つ知的財産を活用するアイデアを考案し発表するというものです。同ゼミに所属する４年生２人・３年生２人のチームで挑み、“air-BOX” という次世代型梱包材を活用する “香りを持ち帰る梱包出張サービス” の発表をしました。このアイデアは、中間発表時に良い反応が得られず、大会まで残り２カ月を切ったタイミングで０から考え直すことで生まれたものです。勇気のいる選択でしたが、コロナワクチンの接種が進み、対面での話し合いを行えたことでできたことだと感じています。学んできた知識を活用すると同時に、コロナ禍だからこそ気づけたこともあり、様々な学びや思い出を得ることができました。

卒業を迎えて

情報社会学科４年　白崎 達也

長いようで短かった大学生活。振り返ってみると私は友人に恵まれていたなと思います。信頼できる友人たちができたきっかけとなった入学式の出来事を最近のことのように感じます。一人の知り合いもおらず、不安な気持ちを抱えたまま臨んだ入学式。「まだ何も始めていないのだし素直にいこう」と、不安に思っていることをそのまま近くにいた人に話しました。徐々に親しくなり、式が終わる頃には数人の友人ができ、その友人たちとは現在も仲良くしています。友人たちとの充実した日々から、私は新たな知見を学ぶことができました。静岡大学には本当にいろいろな人がいて、講義や活動では非常に刺激を受けました。静岡大学で出会った全ての方々に、そして家族に心から感謝します。

HCI（Happiness Computer Interaction）を志して

総合科学技術研究科 修士２年　村田 百葉

情報技術を通じて人を幸せにする研究がしたい！ — これが私が大学院へ進学した理由です。AI などの技術は進展していますが、それらが必ずしも人を幸せにしているとは限らないと感じていたからです。実際に研究を始めてみると、「幸せ」は曖昧なのでテーマに落とし込むのは正直困難でした。しかし、困難なことをどうにか考え、段々と形にしていくのは、ワクワクすることの連続でした。最終的には、悩みを持っている人が気軽に相談でき、心に響く名言を得られる検索エンジンを作りました。この研究成果は、IDR フォーラムというデータ活用に関するイベントで、なんと企業賞を受賞するに至りました。「人を幸せにする」という目標を掲げているからこそ、他の人に研究を認めてもらえることはこの上なく嬉しかったです。また、学部１年生の頃の自分から考えると、受賞することができるとは想像もしていなかったので、自信に繋がりました。この経験を活かし、これからは社会人として人を幸せにすることを志していきます！

2021年度　情報学部・総合科学技術研究科情報学専攻の就職・進学状況

Career choices of new graduates

情報学部キャリア支援室長　遠藤 正之

2021年度も情報学部と総合科学技術研究科情報学専攻では共に高い就職率を維持しています。2022年2月18日現在、表のように学部では3学科平均で98.6%、研究科では98.5%の内定率となっています。引き続き、全員が希望の進路に進めるように支援しています。

学科・研究科		卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	大学院進学者数	内定率	進学率
情報学部	情報科学科	87	41	41	41	100.0%	47.1%
	情報社会学科	65	59	57	3	96.6%	4.6%
	行動情報学科	57	38	38	18	100.0%	31.6%
	計	209	138	136	62	98.6%	29.7%
総合科学技術研究科情報学専攻		76	65	64	4	98.5%	5.3%

2019～2021 年度学部・研究科卒業生の主な就職先

情報科学科	情報社会学科	行動情報学科	総合科学技術研究科情報学専攻
伊藤忠テクノソリューションズ	アイエイアイ	内田洋行	朝日新聞社
SCSK	磐田市役所	HBA	アマゾンウェブサービスジャパン
NEC	NEC ソリューションイノベータ	NEC プラットフォームズ	NEC
NEC ソリューションイノベータ	遠鉄システムサービス	大塚商会	NTT ドコモ
NTT フィールドテクノ	コナミアミューズメント	コーエーテクモホールディングス	京セラ
NTT ドコモ	静岡朝日テレビ	静岡銀行	KDDI
スズキ	静岡市役所	静岡新聞社静岡放送	小糸製作所
ZOZO テクノロジーズ	中部電力パワグリッド	島田市役所	シャープ
ソフトバンク	東京海上日動火災保険	住友重工	セコム
TIS	トヨタシステムズ	TBS グロウディア	デンソー
TOKAI ホールディングス	豊橋市役所	東海旅客鉄道	電通国際情報サービス
野村総合研究所	日本総合研究所	トヨタシステムズ	日本アイ・ビー・エム
ビズリーチ	NEXCO システムズ	トヨタ自動車	日本放送協会
日立システムズ	農中情報システムズ	トヨタ紡績	日立製作所
藤枝市役所	東日本高速道路	日本情報産業	富士ゼロックス
富士ソフト	本田技研工業	日本生命保険相互	三菱電機
富士通	毎日新聞社	浜松市役所	矢崎総業
三菱電機	三井住友トラスト・アセットマネジメント	日立システムズ	ヤフー
三菱電機インフォメーションシステムズ	三菱 JFJ 銀行	日立ソリューションズ	ヤマハ
メイテック	メンバーズ	富士通ソフトウェアテクノロジーズ	ヤマハ発動機
ヤフー	焼津市役所	マキタ	リクルート
楽天	ヤマハモーターソリューション	マクニカ	リコー

3学科を通じて、情報通信業だけでなく、情報の利用側である製造業、金融業、官公庁、あるいはネットサービスの企業など、幅広い分野に就職しています。情報学部では、3年次でのインターンシップや就職活動ガイダンス等に加え、学生に対してきめ細やかな面接指導等を行っています。今年はオンラインで採用活動のすべてを行う企業が増えてきており、実際に学生が活動を行う際に活用しやすいように、なるべくオンラインで情報を閲覧できるようにしております。また、採用関連の企業情報や、卒業生の就職活動体験情報を、就職資料室（i-job）で提供しています。

2022 年度　行事予定表

2022年

4月4日　入学式（静岡グランシップ）・保護者懇談会（静大TV配信）
4月5日　ガイダンス（～ 4月8日）
4月11日　前期授業開始
5月25日　全学一斉地震防災訓練
7月25日　前期試験期間（～ 7月29日）
7月28日　TOEIC試験
8月上旬　夏季オープンキャンパス（予定）
9月16日　集中講義（～ 9月30日）
10月3日　後期授業開始
11月12･13日　静大祭･テクノフェスタ（浜松）
11月12日　保護者懇談会･個別面談
12月24日　集中講義（～ 12月27日）
12月28日　冬季休業（～ 1月3日）

2023年

1月10日　対面授業再開（1月4 ～ 6日は対面授業等なし）
1月30日　後期試験期間（～ 2月3日）
3月23日　学位記授与式（浜松）

学生の表彰

学長表彰
成績優秀者　藤田真伎

学部長表彰
成績優秀者　渡辺結香
団体　浜松全学部新入生歓迎実行委員会執行部：田中文菜、鶴見実夏、佐々木遼志、藤本恵里佳

専攻長表彰
成績優秀者　高田亮介
業績　吉井謙太、林真光

学位記受領代表
情報学部　藤田真伎
情報学専攻　高田亮介

浜松工業会学習奨励賞
情報科学科　井田天星、川村昇平
行動情報学科　坂田匠悟
情報社会学科　黒柳貴慶、東島奈美

お問い合わせ　〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1　静岡大学情報学部事務局
TEL：053-478-1510・1511　FAX：053-471-0249
学務窓口　pr-gakumu@inf.shizuoka.ac.jp

Joy風 vol.28 April2022

情報学部のウェブページをご覧ください。
情報学部では、保護者・受験生・社会人・一般・企業の皆様向けに学部のウェブページを公開しています。最新情報が掲載されていますので、どうぞご覧ください。
https://www.inf.shizuoka.ac.jp/